

薬剤師の

ちよつと薬に立つお話

今月のTOPICS

上田薬剤師会で実施している 使用済み注射針 回収事業について



上田薬剤師会の会員薬局では、家庭で使用された注射針の回収を、平成15年から事業として行っています。全国的にも早かったその取り組みについて、薬剤師の小林啓男さんに聞きました。

取り組み開始の経緯

在宅でインスリンなど自己注射療法の患者さんが増えてきていますが、使われた注射針の処理については見過ごされがちでした。

そんな折、家庭ごみに入っていた**使用済み注射針**によって、回収・分別の際に**針刺し事故**が発生。社会問題となりました。平成15年、地域でも同様の事故発生により、自治体から「使用済み注射針の回収または患者への廃棄に関する指導」が依頼されました。

上田薬剤師会の方針決定

使用済み注射針は、家庭で捨てれば一般廃棄物ですが、薬局で引き取ると、産業廃棄物**(感染性特定管理産業廃棄物)**となります。使用済み注射針の回収費用は患者さんからいただいていませんが、薬局も社会的責任を担う必要があると、上田薬剤師会では回収事業を行うことを決めました。

※処理にかかる費用は、排出量に応じて各薬局が負担しています。

回収の流れ

患者さん

患者さんは安全に配慮して、使用の都度、注射針を飲料のペットボトルや薬の容器などに入れる。たまったら、かかりつけ薬局へ持参。

上田薬剤師会 会員薬局



各薬局では、回収した容器を回収日と番号を記載したシールで封印。薬局内の保管庫に一時保管し、管理帳に記録。

上田薬剤師会

回収容器を保管庫ごと上田薬剤師会に運搬。上田薬剤師会では業者指定専用容器にて保管。保管帳簿にて管理。

運搬業者

上田薬剤師会から、運搬・処理業者に引き渡す。

処理業者

最終処理について、処理業者から届く文書にて確認。

使用済み注射針は、**正しい処分**をすることが大切です。
 処理の方法やわからないことがありましたら、
かかりつけ薬剤師・薬局にお尋ねください。

はい、お答えします!

Q. 子供が卵アレルギーです。以前、薬の中にも卵の成分が入っているものがあると聞いた記憶があります。卵アレルギーの子どもが飲んでダメな薬を教えてください。(上田市上田 35歳 女性)

A. 卵アレルギーの方に注意が必要な成分として「リゾチーム塩酸塩(卵白由来のたんぱく質)」があります。かぜ薬や炎症止めの目薬などに配合されています。他にも、インフルエンザ、麻疹・風疹、おたふくかぜなどの予防接種にも注意が必要です。ワクチンの中に卵の成分が微量に含まれているためです。ただし、アレルギーの度合いで接種可能な場合もありますので、詳しくは接種される医療機関へご相談ください。

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先 **ハガキ** 〒386-0012 上田市中央 6-3-41 週刊うえだ「はい、お答えします!」係
メール weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp **FAX** 0268-22-6201

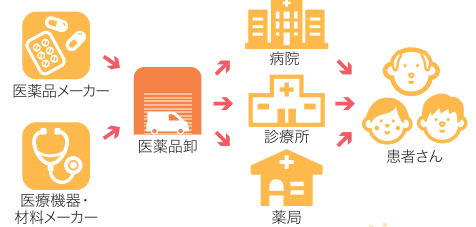
特集 ご存知ですか? 薬剤師のこんなお仕事 医薬品卸会社の薬剤師

薬局で調剤してもらう薬には、作っている会社(製薬会社)と、流通させている会社(卸会社)があります。今回は、医薬品の卸会社で管理薬剤師をする青木文美さんにお話を聞きました。



医薬品卸会社の業務内容

国内外の製薬会社から薬を仕入れ、薬局や医療機関に販売しています。偽造医薬品が流通しないよう、適切な管理を心がけています。「**必要な時に、必要な量を、必要な場所へ**」供給するのが私たちの使命。災害時などでも例外ではありません。医療用医薬品だけでなく、医療材料や医療機器等、幅広い製品を取り扱うことで、多様なニーズに応えています。



情報提供も卸会社の必要な役割

営業担当者はMS(マーケティング・スペシャリスト)と呼ばれ、**特定の製薬会社に偏らない中立的な立場**で、1軒1軒のお得意さまニーズに最適な商品やサービスを提案・販売しています。また、医薬品の適正使用、流行疾患などの情報に加え、医療機関・保険薬局の経営のお役に立てる情報をタイムリーにお伝えするなど、医療経営にまつわる問題解決もサポートします。

その中で、「管理薬剤師」の仕事とは

一つの営業所に一人、管理薬剤師を置く必要があります(医薬品医療機器等法)。管理薬剤師の主な仕事内容は次のようなものです。

- **薬事管理** ● 医薬品販売の許可等の管理、構造設備の管理・点検実施、医薬品の販売管理、行政立入検査等への対応
- **品質管理** ● 医薬品等の保管管理、期限管理、回収、返品
- **情報管理** ● 製薬会社、医療機関、薬局からの情報収集・情報提供
- **教育研修** ● 社員への薬事研修、新入社員研修等

薬局と製薬会社をつなぐ卸会社

医療機関、薬局からヒアリングした情報を製薬会社にフィードバックして、実際に商品の改善につながることはよくあります。卸会社は、薬局や医療機関と製薬会社をいろいろな意味で「つなぐ」役割を果たしているといえます。



▲倉庫には常に約8000種類の在庫をストックしています



▲冷蔵庫の中にも要冷蔵の医薬品がいっぱい

温度の管理には常に気を配っています

お知らせ

毒物劇物 取扱者試験 準備講習会

6月23日(金)~25日(日)

ご希望の方は
 上田薬剤師会までご連絡ください

開催!